

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立鶴見スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	鶴見緑地スマイルパートナーズ
指定期間	令和2年4月1日～令和22年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		76.6%
達成率		95.8%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.9%	99.7%	0.2%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	95.9%	96.1%	-0.2%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	75.8%	82.9%	-7.1%

利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	—	—	—

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	—	—	—

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	31,889,905	39,083,789	4,074,905	工事休館補填 ¥1,572,607 光熱費補填 ¥2,502,298
	計画	27,815,000	27,625,000		
利用料金収入	実績	6,353,610	6,752,740	1,243,610	高稼働率で推移、工事休館があったものの計画を上回る
	計画	5,110,000	5,110,000		
その他収入	実績	25,241,065	25,703,653	-467,935	工事休館の影響で教室開催減

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

(自主事業収入)	計画	29,915,000	29,915,000	7,070,000	マラソン等イベント不振
合計	実績	63,484,580	71,540,182	644,580	
	計画	62,840,000	62,650,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	23,480,799	21,848,735	4,400,799	上期職員 1 名増
	計画	19,080,000	19,080,000		
物件費	実績	34,855,348	35,097,220	10,405,348	光熱費高騰 及び 本社間接費増
	計画	24,450,000	24,450,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	15,274,797	14,529,277	-3,845,203	マラソンイベントの規模縮小
	計画	19,120,000	19,120,000		
合計	実績	73,610,944	71,475,232	10,960,944	
	計画	62,650,000	62,650,000		

4 管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	95.8%	B	

（２）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
（光熱水費の削減） ・ 夜間の周囲灯及び館内常夜灯の適宜消灯 ・ 事務所や休憩室及び会議室のこまめな消灯 ・ 事務所内の空調利用制限 （事務消耗品の縮減） ・ 紙資料から電子資料への移行推進 ・ 裏紙の再利用継続 （自主事業経費の削減） ・ 教室事業チラシは、自前で作成継続実施 ・ 自社作成による施設ホームページを活用し募集 （修繕費の削減） ・ 簡易な修繕は、部品調達し内製化	B	

（３）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

・ 経年劣化により床が滑るため、体育館床専用薬剤を散布し対応 ・ スポーツセンター駐車場入り口に路上駐車が多く、警察に相談 ・ 開放DAYの待ち列を、コロナ規制解除以降、外から館内に変更。 ・ 駐輪場のいたづらが発生していたため、巡回を増やして対応。 ・ 掃除機やモップなど道具室をきれいにしてほしい→モップや掃除機のフィルターの交換や倉庫内の掃除を定期的に行うようにした。

6 外部専門家意見

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

・昨年度から高い稼働率を維持している。次年度は利用者増に向けた取り組みも期待したい。

・利用者満足度は目標値を下回っており、原因を分析し、対応できるものは速やかに対応されたい。

・利用者増に向けては、公園等と隣接した施設特性から考えるとイベント開催による新たな利用者との接点創出は重要な取り組みである。引き続き検証と改善を重ねて重点的に取り組んでいただくことを期待している。

・トイレ扉の鉄板落下による頭部損傷があったが、備品等の点検・更新はもちろんのこと、施設を安全に利用していただけるよう、日々の点検や修繕対応をしっかりと実施し、事故なく利用できる施設運営を行うよう望む。

・10,960,944円の計画から支出増について、目標数値から大きな差がでないようにしっかりと社会状況や貴社取り組みの計画を踏まえ根拠のある目標数値の設定をしていただきたい。

・高い稼働率に対し収益性は悪化しており、収支改善に向けた新たな取組が期待される。利用料金収入及び自主事業収入を増やすために安定した利用者・参加者の確保を狙う広報活動や、人件費を削減するために適正な人員配置に取り組む等、黒字に転向させるための具体的な対策を図っていただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和５年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立鶴見緑地プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	プールは、水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	鶴見緑地スマイルパートナーズ
指定期間	令和2年4月1日～令和22年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		78%
達成率		98%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		
達成率		0.0%

2 管理運営の成果・実績（アイスクスケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		
達成率		0.0%

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	160,774	104,115	154%
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（アイスクスケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	165,857,652	152,595,476	52	計画、協定書通りに推移。
	計画	165,857,600	166,206,000		
利用料金収入	実績	102,759,500	68,936,600	8,179,500	制限解除、工事休館なく好調に推移。
	計画	94,580,000	94,580,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	67,206,862	41,140,001	18,184,862	利用者増加にともない、飲食・物販なども増収。
	計画	49,022,000	49,022,000		
合計	実績	335,824,014	262,672,077	26,364,414	
	計画	309,459,600	309,808,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	66,386,449	62,579,869	-7,643,551	下期人員1名減
	計画	74,030,000	73,840,000		
物件費	実績	209,559,308	168,545,007	9,169,308	水光熱費値上がり
	計画	200,390,000	158,400,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	51,495,001	31,338,174	16,297,001	自主事業増収にともなう委託費増
	計画	35,198,000	35,578,000		
合計	実績	327,440,758	262,463,050	17,822,758	
	計画	309,618,000	267,818,000		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	97.5%	B	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
（光熱水費の削減） ・夜間の周囲灯及び館内常夜灯の適宜消灯 ・事務所や休憩室及び会議室のこまめな消灯 ・事務所内の空調利用制限 ・シャワー等水道関連で節水システムの採用による水道代削減 ・利用者在館状況を共有し不要な動力停止 （事務消耗品の縮減） ・紙資料から電子資料への移行推進 ・裏紙の再利用継続 （自主事業経費の削減） ・教室事業チラシは、自前で作成継続実施 ・自社作成による施設ホームページを活用し募集 （修繕費の削減） ・簡易な修繕は、部品調達し内製化	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

- ・夏期の熱中症対策として、日よけテント・よしずで日陰を確保。
- ・同、ミスト扇風機を設置。
- ・スライダー転倒防止ため、利用者への説明強化、適正なスタート間隔をスタッフ間で徹底。
- ・冬場のプール水温が低い→業者点検を実施

6 外部専門家意見

- ・利用者数は昨年度もコロナ禍から回復傾向にあったが、さらに回復している。
- ・収支についても、収入が大幅に回復している点は評価できる。
- ・鶴見プールはレジャープールとしての性質もあり、幅広い年代に利用いただける人気の施設である。熱中症予防策として、夏季の入場待ち対策の実施やミスト扇風機の設置などサービス向上に取り組んでいる点は評価できる。また、ナイトプールキャンペーンによる利用時間の分散化・利用者数増に向けた取組は評価できる。なお、近年の気象状況から、夏場の繁忙期にかかる熱中症対策については、更なる取組みの強化が必要と思われる。
- ・冬場の利用者アップに向けて、公園内の他施設との連携など、地理的特性を活かした事業展開を期待する。
- ・安全で安心して利用していただけるよう、設備の日々点検・修繕対応はもちろんのこと、スライダー等プール内設備に係る実態に即した利用ルールの設定や、万一に備えた施設職員の訓練についても継続してしっかり実施していただくよう強く望む。
- ・人員を1名減となっているが、職員配置に無理がでないよう留意いただきたい。
- ・取組が収支状況に反映されており、評価できる。特に、利用料金収入や自主事業収入が増加したことにより、利用者数が年間を通して安定していると考えられる。支出に関しては、前年度より増加傾向にあるため、適切な人員配置によるシフトの効率化や、水光熱費の利用を見直すなど、費用削減に努めていただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立鶴見緑地球技場、大阪市立鶴見緑地運動場、大阪市立鶴見緑地庭球場
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	市民の健康の増進と文化的な都市生活の確保に寄与することを目的とする。
業務の概要	施設の経営マネジメント業務全般、集客促進業務、駐輪場の管理等施設の管理運営に関すること。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	鶴見緑地スマイルパートナーズ
指定期間	令和2年4月1日～令和22年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績（球技場・運動場）

成果指標		利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		81.8%
達成率		102.3%

2 管理運営の成果・実績（庭球場）

成果指標		利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		68.5%
達成率		85.6%

利用状況（球技場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	67.8%	67.1%	0.7%

利用状況（運動場1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	65.1%	62.2%	2.9%

利用状況（運動場2）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	33.2%	33.1%	0.1%

利用状況（庭球場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	44.8%	49.1%	-4.3%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	44,228,251	50,453,767	1,182,251	コロナ補填 ¥286,200
	計画	43,046,000	40,483,000		光熱費補填 ¥ 896,051

令和5年度 指定管理者年度評価シート

利用料金収入	実績	87,777,180	84,457,320	3,141,180	第二球技場の利用率UP
	計画	84,636,000	84,636,000		
その他収入 (自主事業収入)	実績	51,594,671	51,239,326	-8,556,829	庭球場教室事業不振
	計画	60,151,500	60,151,500		
合計	実績	183,600,102	186,150,413	-4,233,398	
	計画	187,833,500	185,270,500		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主要要因
人件費	実績	56,394,309	54,938,439	-8,810,691	第二球技場稼働に伴う要員減
	計画	65,205,000	65,045,000		
物件費	実績	89,752,755	96,076,976	-44,245	ほぼ計画通り
	計画	89,797,000	87,394,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	35,726,500	35,851,816	2,895,000	球技場、庭球場共に1.5百万円増
	計画	32,831,500	32,831,500		
合計	実績	181,873,564	186,867,231	-5,959,936	
	計画	187,833,500	185,270,500		

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度(球技場・運動場)	102.3%	B	
利用者満足度(庭球場)	85.6%	C	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
(光熱水費の削減) ・夜間の周囲灯及び館内常夜灯の適宜消灯 ・事務所や休憩室及び会議室のこまめな消灯 ・事務所内の空調利用制限 (事務消耗品の縮減) ・紙資料から電子資料への移行推進 ・裏紙の再利用継続 (自主事業経費の削減) ・教室事業チラシは、自前で作成継続実施 ・自社作成による施設ホームページを活用し募集 (修繕費の削減) ・簡易な修繕は、部品調達し内製化	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

- ・ 暖かい日に蚊が多い→蚊取り線香を無料配布の告知
- ・ 次の使用者が時間前に入ってくる→蚊取り線香を無料配布の告知
- ・ 施設の設備や予約に関する内容→修繕や備品の交換など
- ・ グラウンドの状態が悪い→不陸整地を実施

- ・収支について、光熱費高騰の中、昨年度から物件費の縮減に努めた点は評価できる。
- ・利用料金収入は計画どおりだったにもかかわらず、自主事業収入が計画より850万円ほど減少している点については、要因の分析をきっちり行い、来年度につなげていただきたい。
- ・収支状況は前年度からの改善がみられる。収入については、競技場の効率的な活用や広報活動により利用料金収入が大幅に増加したと考えられ、今後もより安定的な利用者の確保に取り組んでいただきたい。支出については、物件費が前年度より大幅に減少しており、積極的な費用削減の結果であると評価できる。
- ・【球技場 第2球技場】
令和4年3月に人工芝化した第2球技場の稼働率は、昨年度から昼間の稼働率は62.2%から65.2%、夜間の稼働率は、昨年の84.7%から92.2%まで大きく伸びているおり、大いに評価できる。今後は更なる昼間の稼働率アップについても尽力いただきたい。
- ・【第2運動場】
稼働率が低い水準となっている。不陸整備の実施などにより利用環境は向上していることから、PRを強化するなど民間のノウハウを活かし次年度以降稼働率アップにつなげる取組みを行っていただきたい。
- ・【庭球場】
稼働率が毎年下がっている。昨年度指摘した新規入会のきっかけとなる施策（入会キャンペーン）を実施されているが効果が反映されていない。原因について他施設の状況など詳細に分析し、改善を図られたい。又はその収益分をカバーできる取り組み検討するなど、収支においても改善を期待したい。コロナ禍の影響が薄れていく中、利用促進に向け、公園内の他施設と連携するなど創意工夫をし、利用率促進に向け取り組んでいただきたい。

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	